

自律分散型IoTデバイスで構成されるLPWAメッシュ網により、災害初期の通信遮断時にも動作する“止まらない通信網”を美波町全町に敷設する。住民の避難力(自助力)向上のため同インフラを活用した、歩数をポイントに換算する健康マイレージ制度を導入する。

■ 対象区域のビジョン

「美波町国土強靱化地域計画」を策定し、「南海トラフ巨大地震」に加え「複合災害」に対しても、「致命的な被害を負わない強さ」と「速やかに回復するしなやかさ」を持った安全・安心な災害に強いまちづくりで「強靱な美波町」を推進する。

■ 対象区域の課題

南海トラフ巨大地震で通信が遮断したとき、どのように津波発生や避難の情報を伝達し、家族や住民の安否を確認するか。また高齢化に伴う災害時の避難力をどの様に向上するかが課題である。

■ モデル事業の取組み内容

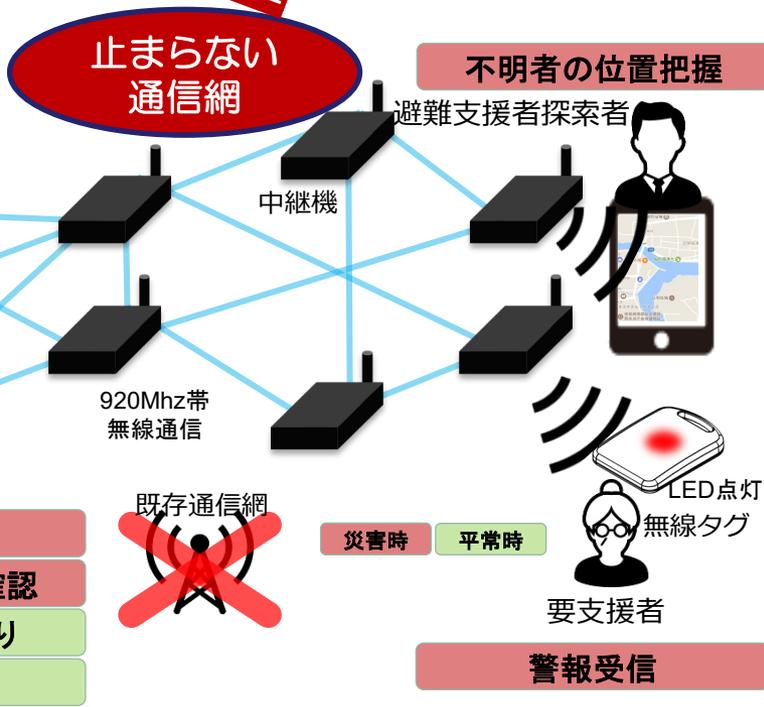
- ① “止まらない通信網”を全町に敷設し、住民の見守りやセンサー情報を伝達する。
- ② 健康マイレージ制度により避難力を向上する。



- 警報・避難指示配信
- 避難者位置把握
- 点呼・避難先把握
- 防災データ収集分析
- 要支援者見守り



- 警報受信
- 家族等の位置確認
- 家族等の見守り
- お知らせ受信

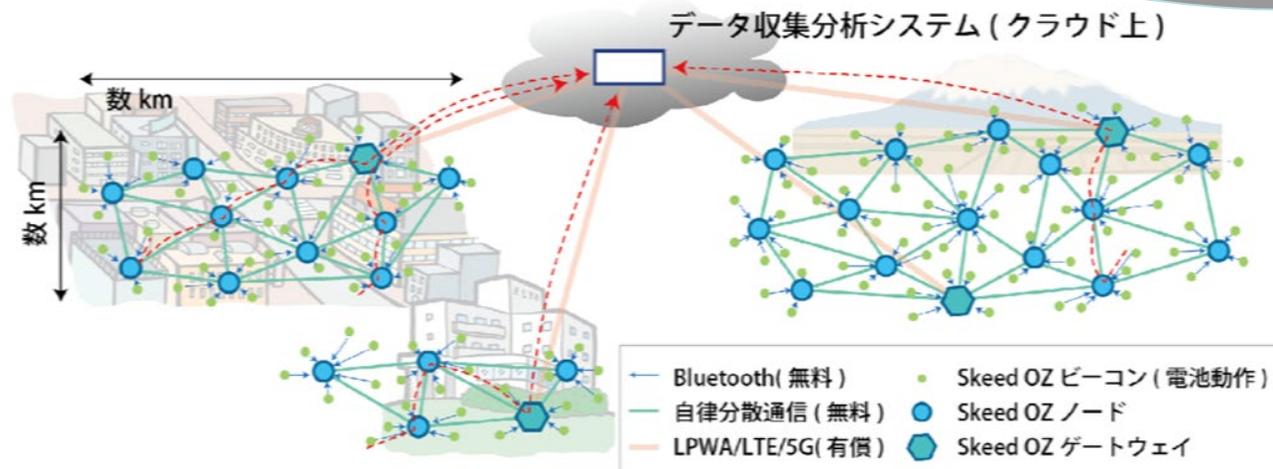
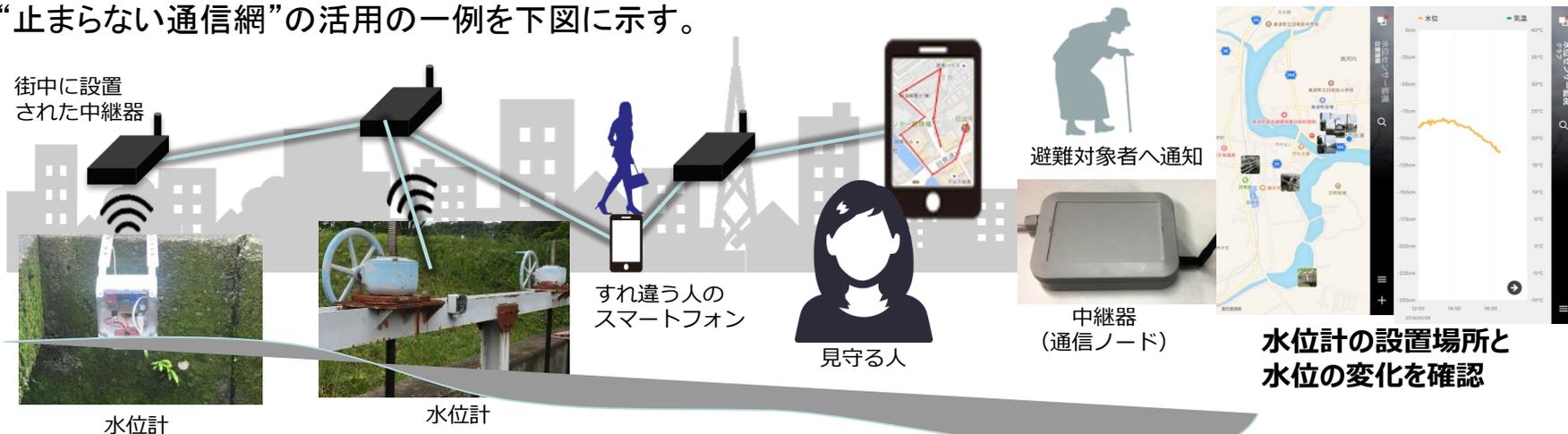


美波町スマートシティコンソーシアム(徳島県美波町)

■止まらない通信網によるスマートシティの構築

広エリア低コストセンサー情報収集ソリューション

水位計や崩落センサー、地滑り感知など街のインフラとしてのセンサーの情報を低コストで伝達する、“止まらない通信網”の活用の一例を下図に示す。



都市部では

- ・人流解析
- ・忘れ物検索
- ・物流管理

地方では

- ・認知症対応
- ・見守り

センサーによる産業創出

企業では

- ・所在管理やBCPへの利用
- ・在庫管理